



思春期になったら

女性の健康コラム

みなさん、こんにちは！ 産婦人科 宮川三代子です。

突然ですが、みなさんが、初めて産婦人科を受診されたのは、おいくつの時で、受診理由は何ですか？

- ① 妊娠してから？
- ② 妊娠したいけど、なかなか妊娠しないから？
- ③ 生理にまつわるトラブル(生理痛や生理不順など)の時でしょうか？



私は、20代前半の学生時代に陰部にしこりができて「悪いものだったらどうしよう！！」と悩みに悩みました。20年以上前なので今みたいにインターネットは普及しておらずタウンページで、女医さんっぽい名前のところを探し、受診するまでとても心細かったのを覚えています。

低用量ピル普及率40%以上の欧米諸国では、思春期が来たら当たり前のように**産婦人科のかかりつけ医**がいます。(ちなみに日本の低用量ピル普及率は4.2%です)そして、思春期になったら妊娠・出産だけでなく生活習慣や、ピルや避妊についても気軽に産婦人科に相談しています。

日本はどうでしょう？今、小・中・高校生の女の子が産婦人科の待合室にいたら、なんであの子、産婦人科に来ているの??とジロジロ見られてしまうこともあるかもしれません。

そんな思いをしたら、その子はもう次は産婦人科には行きたくないですね。

そこで私は、「思春期になったら、**産婦人科のかかりつけ医**を持つ！」

これが日本でも当たり前になったらどんなにいいだろうと思っています。



思春期(8歳から17、18歳まで)の頃から、**産婦人科のかかりつけ医**がいれば、正しい知識が早くから身につくので、生理痛が楽になり、望まない妊娠や婦人科の病気や更年期症候群で苦しむ人が減り、更には自分の性についての悩みが減っていく。素晴らしいですね。

そんな日が来るように、当院産婦人科でも、思春期の皆さんの生理痛や生理に伴う不調についてご相談をお受けしており、少しずつですが、小・中・高校生の受診が増えてきています。

彼女たちが希望すれば、適切な時期に妊娠・出産できるように。いつまでも健康的な毎日を過ごせるように。

もし、皆さんのお子さんや周りに、婦人科系の悩みがある思春期の娘さんがいらっしゃいましたら、一度ご相談頂けたらと思います。

特別な場合を除いて、問診や血液検査、お腹の上からのエコー検査のみでも診療は可能です。



お困り事がありましたらお気軽にご相談ください。(産婦人科医長 宮川三代子)